



平成19年度文化庁芸術団体重点支援事業

第九回廣田鑑賞会能

平成十九年十月七日(日)

午後一時三〇分始曲



綾鼓

Aya no tsuzumi

廣田 幸稔
Hirota Yukitoshi



狂言
文荷
善竹
隆司
ごあんない
西村 聡
面/悪尉
鞆鼓 (金剛家蔵)



◆料金 / 【一般】 8,000円 【会員】 7,500円 【学生】 3,000円

◆主催 / 廣田鑑賞会 ◆指導 / 宗家 金剛永謹 ◆後援 / 金剛会・京都新聞社

会場 金剛能楽堂

TEL.075-441-7222
京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

第九回 廣田鑑賞会能

午後一時半始曲 金剛能楽堂

ご挨拶

いつも廣田鑑賞会にご支援をいただき、ありがとうございます。
 今回は当流では中伝の重い扱ひである「綾鼓」を演じます。卑賤老境の身でありながら、高貴な女御へ恋をし、報われない想いの後に、さらには怨霊となる老人がシテです。いかにも人間臭い老人を写實的に演じるだけでは、能として魂の想いが伝わりません。それがこの曲の難しさでもあると感じています。
 狂言は、同じく恋を扱った「文荷」をお楽しみいただきます。ごあんないには能楽がご専門である金沢大学教授西村聡氏に、お願いをいたしました。
 お忙しい時期とは存じますが、秋のひとつときを金剛能楽堂でお過ごしいただけたら幸いです。ご高覧をお待ち申しあげております。
 平成十九年 葉月 吉日

廣田 幸稔

◆ 番組

◎午後二時三十分始曲

狂言 文荷 善竹隆司

善竹 忠一郎
上吉 隆平

ごあんない 金沢大学教授 西村 聡

― 休憩 ― 二十分

宇高 竜成

廣田 幸稔

能 綾鼓

福王 和幸

間 善竹 忠一郎

谷口 有辞 前川 光範
林 光寿 左鴻 泰弘

廣田 泰三
金剛 永謹
廣田 泰能

柴田 良平 掛川 昭二
今井 克紀 今井 清隆
豊嶋 幸洋 松野 恭憲
豊嶋 晃嗣 種田 道一

◎午後四時頃終了予定
都合により内容を一部変更する場合がございます。

狂言 「文荷 (ふみにない)」

太郎冠者と次郎冠者は主人に恋文の使いを頼まれますが、どうも気が進みません。お互いに役を押しつけあいながら道中を行きますが、気のせいかわ文が重たく感じられます。どうしても恋文の自身が気になります。我慢できずにこっそり開けてみると「恋し 恋し」と書いてあります。なるほど「小石 小石」と小石がいつばいあれば重たいはず、などと奪い合って読むうちに大事な恋文は破れてしまいます。さて、その先はどうやって文を送り届けようとしたのでしょうか。能「綾鼓」の類曲、「恋重荷」を題材にしています。

能 「綾鼓 (あやのつづみ)」

筑前の国、木の丸皇居(福岡県朝倉市)の庭掃きの老人はふとしたことから女御を垣間見、恋慕の想いに悩んでいた。そのことを聞いた女御は「恋に上下はない」と、桂の池のほとりにある桂の木に鼓をくりつけ、その鼓の音が御殿に聞こえたら、今一度姿を見せると老人に伝えた。老人は女御の言葉に従い懸命に鼓を打つが、鼓は鳴らない。老人は、年をとった自分の耳のせいかと歎くが、実は鼓は、女御の衣で張られた綾の鼓だった。老人は、鳴らない鼓とは知らないまま、失意のあまりに桂の池に身を投げる。やがて、恋慕の執心が邪淫の恨みとなり、怨霊となつて池から現れた老人は女御につき寄り、鼓を鳴らせと責めたてる。女御は悔い、歎くが、亡霊はなおも女御へのうらみを抱いたまま、再び池中深くに身を沈め消えていくのだった。

能「綾鼓」は宝生流と金剛流にある曲。金剛流では中伝準九番習いと重い扱ひをしています。

面/前シテ三光尉 後シテ悲尉 ツレ小面



廣田 幸稔 (ひろた ゆきとし)

金剛流シテ方先代および当代宗家・金剛永謹と父陸一に師事
 重要無形文化財保持 金剛会理事
 京都市芸術新人賞 文化庁芸術祭新人賞

※当日解説付番組あります。

〈次回公演予定〉 第10回 記念廣田鑑賞会能 平成20年5月11日(日) 午後1時半始曲 能「鱗形」廣田幸稔 狂言 解説 天野文雄
 第11回 廣田鑑賞会能 平成20年10月5日(日) 午後1時半始曲 能「定家」廣田幸稔 狂言 解説

菊之会 平成19年12月9日(日) 午後2時始曲 能「忠度」廣田泰能

FAXにても、ご予約を承ります。 廣田鑑賞会 075-722-9123までご送信ください。 切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第9回 廣田鑑賞会能 申し込み》

■お名前

■お電話・FAX

■ご住所

■一般券 (8,000円) 枚 ■学生券 (3,000円) 枚

会員入会 (第9回、第10回 年2回公演分) 会員7,500円 (年会費 15,000円)

※ 内にチェックして下さい

チケット取扱所

●ローソンチケット(Lコード 53311) ●金剛能楽堂075-441-7222 ●京都新聞社文化センター ●檜書店 ●京都会館プレイガイド 075-771-6056 ●廣田鑑賞会 075-722-9123